

# 「原発性アルドステロン症診断における副甲状腺機能とカルシウム代謝評価 の意義について」の臨床研究へご協力のお願い

## 一原発性アルドステロン症診断のための副腎精査パスを受けた患者さんへー 【通常診療情報の調査研究への使用のお願い】

高崎総合医療センター内分泌代謝内科では、以下の臨床研究を行っております。  
内容をご確認ください。

### （1）研究の概要

#### 【研究の目的・意義】

原発性アルドステロン症（PA）における副甲状腺ホルモン（PTH）高値については以前より報告され、PA患者の37～55%に二次性副甲状腺機能亢進症が認められるとの報告があります。一方でPTHや高カルシウム（Ca）血症によるレニン-アルドステロン系ホルモン分泌への影響も示唆されています。原発性アルドステロン症において副甲状腺ホルモンや血清カルシウム（Ca）濃度、尿中Ca排泄量などがどのように変化しホルモン分泌に影響を与えているのか、PAの診断への影響があるのか、また、続発性の高アルドステロン血症がCa代謝へ与える作用を解析する目的にこの研究を行います。そのため、対象調査期間中に原発性アルドステロン症診断のための副腎精査パスを受けた患者さんのカルテ等の検査治療データを使用させていただきます。

### （2）研究の方法

- ① この調査研究は高崎総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。  
研究期間：研究機関長許可日 ～ 2028年3月31日まで  
対象調査期間：2020年4月～2027年12月31日まで
- ② 今回の調査研究の対象は対象調査期間中に原発性アルドステロン症診断のための副腎精査パスを受けた患者さんのカルテ等の検査治療データです。  
情報：病歴、治療歴、検査結果 等
- ③ 通常の診療で得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ④ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑤ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ⑥ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は高崎総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。

- ⑦ この調査研究は、研究費を使用しません。また特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

**【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

高崎総合医療センター 内分泌代謝内科 部長

研究責任者：渋沢 信行

T E L : 027-322-5901(代) F A X : 027-327-1826(代)